

金融情報サービス業のお客様向け

即時性ある購買データのご提供

概要

資産運用の高度化・多様化を目的に**オルタナティブデータ**をご活用されるお客様へ、消費者の購買傾向を日次で捉えたデータをご提供し、資産運用や投資家向けサービス活用などのご支援をいたします。

オルタナティブデータ については裏面へ

購買データの特徴とご活用ケース

東芝グループの電子レシートサービス「スマートレシート®」から得られる流通横断で新鮮な購買データです。



スマートレシートの詳細は裏面へ

課題1：月次・週次の購買データでは鮮度不足

弊社データの特徴：



日次で更新されるので
POSデータよりも即時性あり

活用ケース：

いち早くトレンドを見極め、
企業の業績予測・株式分析等に活用



課題2：網羅性ある情報を知りたいが、最適なツールが見つからない

弊社データの特徴：



流通チャネル横断/
決済手段横断

活用ケース：

景況感の判断に活用

地域別の購買傾向を把握したり、時系列での
購買実績を掴み、新しい経済指標として活用。



課題3：特定企業の商材や、特定カテゴリーの購買状況を知りたいが、方法が分からない

弊社データの特徴：



特定のメーカー商品名や
カテゴリーなど、
自由な切り口で検索可能

活用ケース：

特定の商材・企業の販売予測に活用

明細単位で購買情報が取得できるので、
特定の商品やカテゴリーに着目して購買データの変化を探り、
売れ筋の予測に活用。



スマートレシート®とは

「スマートレシート®」とは東芝テック株式会社が提供する電子レシートサービスです。

スマートレシート スマホにレシートが届く便利なアプリ

会員数 130万人突破

いつでも見れる電子レシートでお財布スッキリ

レジでアプリ画面 or 連携したポイントカードを見せるだけで使える!

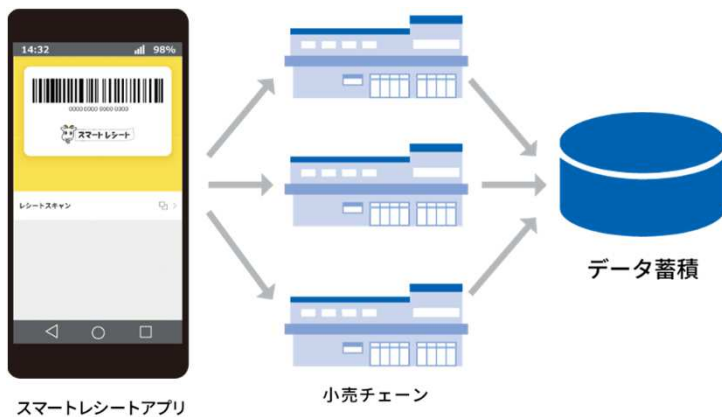
インストールはこちらから [Android/iPhone](#)

スマートレシートアプリの画面とQRコードが示されています。

【スマートレシート 公式HP】 <https://www.smartreceipt.jp/>

他の購買データとの違い

スマートレシートから得られる購買データは、生活者からダイレクトに収集され、流通チャネルと決済手段を横断した個人ID付きの実店舗購入明細が分かるデータです。



種類	流通横断	明細	リアルタイム	購買証明	データ量
決済データ	○	×	○	○	○
POS データ	×	○	×	×	○
ID-POS*データ	○	○	×	×	○
リサーチデータ	○	○	×	×	△
スマートレシートデータ	○	○	○	○	○

類似データ（実店舗購買データ）との比較

*小売企業ポイントカード提示により取得される個人ID 付き購入明細データ

5つの特徴

ユーザーのもの

本人の同意に基づいて預かる電子レシート情報

流通横断

流通チャネルや決済手段を横断したリアル店舗の購買情報

購買明細

商品・価格などの購買明細を共通フォーマットで保有

リアルタイム

レシート発行のタイミングでPOSシステムから自動取得

購買証明

店舗・利用者による改ざんができません。複製も困難

オルタナティブデータとは

金融機関や投資家が資産運用で用いる伝統的な情報以外の、様々な業界・分野の情報を指します。近年、世界の資産運用業界では、企業のIR情報や経済統計情報などの公的データに加え、POSデータや決済データ、気象データなどの“代替（オルタナティブ）”となるデータを、投資判断の新手法として活用する動きが強まっています。

オルタナティブデータ活用のメリット

1. 公的に入手できる従来データとは異なる情報を取得することで、分析精度の向上が期待できます。
2. リアルタイムに取得できる情報であれば、鮮度の高いデータに仕立てることで、迅速な資産運用につなげられる可能性がございます。
3. 海外と比較して国内の市場規模はまだ小さく、換言すれば先行利用を図ることで、自社便益をより高められるポテンシャルがございます。